

## 第 25 回合志市地域公共交通協議会

〔日時〕平成 25 年 5 月 28 日（水）午前 10 時～

〔場所〕合志市役所 合志庁舎 2 階大会議室

〔出席者〕藤井委員、古武城委員、関委員、寺本委員、宮川委員、池松委員、西郷委員、塚本委員、野田委員、山野委員、小森田委員、富田委員、重光委員、金森委員、林委員、今村委員

〔代理出席〕熊本電鉄(株) 黒木氏、(社) 熊本県バス協会 檜村氏、菊池地域振興局 弓削氏、合志市建設課 中村氏、大津警察署 田代氏

〔欠席者〕吉永委員、藤園委員、吉田委員、古川委員、桑島委員、坂元委員、溝上委員、原委員

〔事務局〕濱田政策部長、内田企画課長、澤田課長補佐、坂田主査

〔議題〕

報告 ①平成 24 年度コミュニティバス運行実績について

②セミコンテクノパークエコ通勤実証実験について

協議 ①平成 25 年度事業計画について

〔会議の公開・非公開の別〕 公開

内田課長：それでは、挨拶から始めたいと思います。ご起立をよろしくお願います。「おはようございます。」ありがとうございました。ただ今から第 25 回合志市地域公共交通協議会を開催させていただきます。はじめに、会長であります副市長の藤井がご挨拶申し上げます。

藤井会長：改めまして、皆さん、おはようございます。第 25 回合志市地域公共交通協議会に出席いただきまして、大変ありがとうございます。この協議会も 25 回の会議を重ねてきています。新年度の第 1 回目の会議でございます。若干委員さんの交代もあっております。

本日はお手元の次第にありますように、報告事項 2 件、議題として 1 件用意しております。どうか、皆さん、最後までどうかよろしくお願ひ申し上げます。

内田課長：協議をはじめます前に、各団体役員の交代等で 2 名の委員の交代があっております。事務局から紹介させていただきます。委員名簿の 2 番区長連絡協議会から古武城委員、それと本日は代理出席ですが 23 番合志市建設課長の立山委員です。

藤井会長：それでは、早速会議を始めさせていただきます。次第の 3 の報告ということで、1 点目の平成 24 年度コミュニティバス運行実績について、事務局の方から説明をお願いします。

坂田主査：資料P 1をご覧ください。

平成24年度のレターバスの運行実績です。上段表、上から運行経費、運賃収入、委託料、収支率、利用者数、運行日数、運行便数、1便当たりの利用者数、市民一人当たりの負担額、最後に前年度の比較のため、平成23年度の利用者数と比率を記載しています。

なお、4月～6月は5便/日、7月以降は6便/日での運行であります。

また、市民一人当たりの負担額の算出については、委託料を平成24年3月31日現在の12歳以上の人口数で割った額でございます。実績値としては、レターバス利用者数は増加傾向にあります。特に3月分実績につきましては、運賃収入額、収支率、利用者数、1便当たりの利用者数が運行以来、最高値でございました。

年間実績値としては、表一番右の欄3段目委託料が27,468,360円、その下の収支率が20.2%、その下の利用者数は64,614人、下から4番目の1便当たりの利用者数は16.3人でした。

中段のグラフにつきましては、数値をグラフ化したものでございますので、説明は省略いたします。

レターバス実績の総括としましては、利用者が確実に増加していると捉えています。利用者数としましては前年度と比較しますと、約1.5倍増えています。これは、平成24年7月から1便増便したことか要因と考えられますが、1便当たりの利用者数が伸びていることから、利用者が顕著に増加していると捉えています。また、収支率について、年平均20.2%でありました。平成24年7月から1便増便したことから運行経費が膨らみましたが、収支率は下がることなく、むしろ8月以降は20%台を維持しています。これも利用者が増加していることが要因であると考えています。

2ページをご覧ください。

循環バスの運行実績です。表の見方はレターバスと同じです。

年間実績値としては、表一番右の欄3段目委託料が6,281,135円、その下の収支率が11.2%、その下の利用者数は7,909人、下から4番目の1便当たりの利用者数は6.3人でした。

循環バス実績の総括としましては、レターバスとは逆に、利用者数は減少傾向にあります。循環バスの利用者は、乗降調査の結果ほぼ固定客です。その方々が高齢になり、お亡くなりになるなどで利用が減っているものと考えます。また、収支率については、年平均11.2%であり、H24年7月以降は概ね10～12%間で推移しています。

利用者数が増加になればおのずと率も上がりますので、循環バスについての利用促進策の取り組みを検討実施することが必要ではないかと考えています。

3 ページをご覧ください。乗り合いタクシーの運行実績です。

表の見方は同じでございます。年間実績値としては、表一番右の欄 3 段目委託料が 7,985,094 円、その下の収支率が 6.4%、その下の利用者数は 5,760 人、下から 4 番目の 1 便当たりの利用者数は 3.4 人でございました。

乗り合いタクシー実績の総括としましては、利用者数は増加傾向にあります。主に人口の少ない市の北部地域の交通不便地域を運行していること及びタクシー車両にて運行していることから乗車可能人数が制限されることから、利用者数の劇的な増加は困難であります。乗り合いタクシーも循環バスと同様に利用促進策の取り組みを検討実施することが必要ではないかと考えています。

4 ページをご覧ください。運行経費の財源内訳です。

左上の円グラフが平成 24 年度、右下が平成 23 年度です。

両グラフとも、青色が国庫・県費補助金、赤色が運賃・雑収入、緑色が一般財源・市の税金、いわゆる運行赤字への補填でございます。見てのとおり、平成 24 年度は青色の国庫・県費補助金が大きく減り、その分、緑色の運行赤字への補填額が大きく増えています。これは、国庫補助金の制度改正により、補助金の上限額が設定されたことによるものです。従来補助制度の 1/6 になっています。そのため一般財源で約 1,500 万円増額していますが、これが、10 年 20 年と積み重なると、億単位の金額になっていきます。

とは言え、市民の日常生活の移動手段の確保しなければならないため、簡単にコミュニティバスを廃止するわけにはいきません。市としても、運行経費の削減策として、レターバスでの有料広告掲載による広告収入の取り組みを実施していますが、比率から言うと微々たるものでございます。

安定したコミュニティバス運行のためには、みなさまに乗っていただいたり、利用が増えるアイデアなど提案していただくなど、コミュニティバスを市民と行政が共に支え・育てていく仕組みに転換していかなければならない状況になっています。

なお、委員の皆様へ「平成 24 年度合志市地域公共交通計画事業総合支援（調査・研究）業務」報告書の成果品を配布しています。内容については、前回の会議で説明していますので、今回説明は省略

させていただきます。事務局の説明は以上です。

藤井会長：各委員からご意見・ご質問はありませんか。

田代委員：減額された国庫補助金について、政権が変わったので復活・復帰はないのか。

藤井会長：そうなれば我々としてはうれしいが見通しはわからない状況である。

西郷委員：レターバスについて利用が伸びているのは大変良いことだと思っている。しかし気になるのは認知度が低いということ。どうやって周知を徹底していくかが大切である。コミュニティバスで「こういう使い方がある」「こんなお店がある」などをMAPにして一覧で見せることによって利用客が少しでも増えればと思っている。それともう一つ、公共交通バス、レターバス、循環バスの接続がよくない。乗り継ぎ乗り継ぎで目的地へ行けるようにしていただければ、利便性が上がることになると思います。

内田課長：西郷委員が言われたのは、昨年度の3000人市民アンケートの結果であると思うが、「コミュニティバスに乗ったことがあるか」の設問に9割の方が乗ったことがない、1割の方にご利用いただいているという結果。また、コミュニティバスの認知度については、「レターバスを知らない」と答えた人は3%であった。「レターバスは知っているけど乗っていただけない」というのが現状であります。

2点目の、コミュニティバス沿線の情報提供については、昨年度の市民シンポジウムにおいて携帯版ガイドマップを作製してほしいとの意見がありましたので、レターバスの各バス停周辺の情報を盛り込んだマップを本年度作製予定でございます。できるだけ早くお渡しできればと思います。

藤井会長：運行実績の報告についてはよろしかったでしょうか。

各委員：はい

藤井会長：それでは、次の報告事項に進みます。セミコンテクノパークエコ通勤実証実験について、事務局より説明をお願いします。

坂田主査：セミコンテクノパークエコ通勤実証実験についてご説明いたします。この事業は、熊本県が主導で、本市、菊陽町及びセミコンテクノパーク協議会で協議会を設立し、JR光の森～セミコンテクノパーク間に通勤バスの試験運行を実施したものです。今後、今回の実験結果及びアンケート調査の結果を分析検証していきますので、今回は実験結果等の実績のみご報告いたします。

資料5ページをご覧ください。

①実験概要です。

通勤バスの試験運行を、J R 光の森～セミコンテクノパーク間で実施しています。実験期間は、平成 25 年 2 月 1 日～平成 25 年 3 月 1 日の平日のみ 20 日間です。大型バス車両を使用し、1 日 8 便 4 往復運行しました。運賃はおとな 100 円、小児 50 円です。

②運行ルートです。

J R 光の森駅から本市の永江団地、永江団地公民館前、日本たばこ前を経由してセミコンテクノパークを往復します。

③通勤バス乗車モニターを募集しました。

目的としましては、実際に乗車した人からの実体験に基づくデータ採取及びアンケート回収数の向上のためでございます。モニター者数は、合計 86 人でした。なお、モニターさんには、特典として通勤バス利用券 5 枚を配布しました。

④実験終了後、東京エレクトロン九州(株)およびソニーセミコンダクタ(株)の従業員を対象に、アンケート調査を実施しました。回答者数としましては、東京エレクトロン九州(株)115 人、ソニーセミコンダクタ(株) 296 人で行いました。

6 ページをご覧ください。

表は、上から「日当りの利用者数」、中段が「週当たりの利用者数」、下段が「通勤バス利用券」の利用状況です。

全体の利用者数は 1,382 人、うち通勤バス利用券での利用者は 5.39 人約 4 割でした。

7 ページをご覧ください。

バス停ごとの利用状況です。

上から、入社時の乗車状況、降車状況。3 段目が退社時の乗車状況、その下が降車状況です。入社時の乗車については、J R からの乗り継ぎが 7 割弱と多く、また、降車については日本たばこ前での降車があります。退社時については、J R 光の森駅は約半数で、ゆめタウン光の森や新山で降りる方がありました。直接帰るのではなく、商業施設等によって帰っていることがわかりました。

右側の円グラフは、便ごとの乗車割合です。

入社時は 3 便・4 便で 75%の利用があっているものの、退社時はほぼ平準化しています。

8 ページ目からは、アンケート調査の結果です。

回答者数は 808 人でした。主な内容を見ますと、9 ページ【質問 7】  
「どのような条件が整えられたら利用しますか」との問いに、約 5 割の方が勤務形態に合わせたダイヤ設定と答えています。また、3 割の方が安

価な運賃設定と答えていまして、200 円以下の運賃でないと利用しないとの答えが出ています。さらに 9 ページをでは、条件が整備された場合の利用日数を質問した結果、約 4 割が 1～2 日の利用となっています。また、11 ページの【質問 11】通勤バス利用の可能性がない理由について、アンケートに回答した 808 人のうち約 8 割の 647 人がそれぞれの理由で利用しないと答えています。

冒頭申しましたとおり、今後、今回の実験結果及びアンケート調査の結果を分析検証していき、検証結果がまとまり次第再度ご報告いたします。

説明は以上です。

藤井会長：委員の皆様この件についてご意見等ございませんか。

本日は、本実証運行の運行事業者であった熊本電鉄様がお見えですのでご意見をいただければと思います。

熊本電鉄(株)黒木氏：熊本電鉄(株)の黒木と申します。運行概要については先ほど説明のあったとおりでございます。本格運行については現在検討中でございます。今回の実証実験での運賃は 100 円としていましたが、通常運賃は 300 円～350 円であります。アンケート結果から見ると、運賃は 100 円～200 円と希望する方が多い。今後、利用者の要望事項と採算性等、本格運行への課題の検討をしているところであります。

藤井会長：今回の実証実験で、交通渋滞は緩和されたのか。

熊本電鉄(株)黒木氏：交通渋滞の緩和については確認していない。

藤井会長：実証運行の実績報告についてはよろしかったでしょうか。

各委員：はい

藤井会長：それでは次の協議事項に移ります。平成 25 年度事業計画について事務局より説明をお願いします。

坂田主査：平成 25 年度事業計画（案）について説明いたします。平成 25 年度の予算及び事業計画（案）については、前々回の会議でご承認をいただき、それに基づき予算要求いたしました。先の市議会ではほぼ原案通り承認いただきましたので、今回は主な事業についてご説明いたします。

13 ページをご覧ください。

歳入について、1 段目国庫補助金です。備考の欄に国庫補助金の上限額の算定式を記載しています。また、3 段目コミュニティバス広告収入について、現在音声広告について、関係者と調整協議を行なっています。順調に行けば平成 25 年 10 月から実施できるか

と考えています。本年度の歳入予算額は、合計 7,608,000 円でございます。

下の表の歳出です。

1 番の協議会運営事業です。今年度も協議会開催 4 回、作業部会開催 4 回を予定しています。主な協議内容として、「公共交通計画の見直し」（運行指針の策定）を行います。作業部会で運行指針の内容を検討協議し、協議会に図り、パブリックコメントを実施して、平成 26 年度から運行指針を運用していきたいと考えています。作業部会の委員には昨年同様の委員にお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

また、須屋地区において、レターバス運行の要望があつております。しかしながら、先の協議会において、レターバスは当面現状の運行形態を継続するとの協議結果であります。したがって、循環バス須屋線のレターバス接続について、須屋線沿線の自治会、関係団体等にアンケート調査を実施し、須屋線の路線・ダイヤ変更を行うか否かの協議を併せて行ないたいと思っております。

14 ページをご覧ください。

3 番の P & R 駐車場管理事業です。備考欄に P & R の啓発について関係団体と連携を図るとしてあります。みなさまのお手元に「熊本都市圏協議会」と連携し P & R 施設を記載したガイドマップをお配りしております。お帰りになられましたら是非ご覧いただきたいと思っております。

15 ページをご覧ください。

6 番の湯ったり乗ったり弁天カード事業です。備考欄です。今年度 9～12 月の予定でユーパレス弁天の大規模改修工事が実施されます。その間はお風呂に入れないため予算額が減となっております。

7 番啓発利用促進活動です。

今年度に入りまして、既に 3 回の講座を実施しています。また、ポツの 3 つ目、小学生を対象にした「バスの乗り方教室」を実施いたします。2 つの小学校から問い合わせがあつております。ポツの 4 つ目、マイ時刻表の配布です。昨年実施しました、公共交通市民シンポジウムで、レターバスのガイドマップは大きくて持ち歩けないので「地域の時刻表」を作ってほしいとのアイデアをいただきました。そのアイデアを基に考案いたしました。自分がよく利用するバス停・目的地の時刻を掲載したものです。ハガキサイズになります。平成 25 年 3 月からサービスを開始して現在

12名に作成しています。

最後のポツに、レターバスガイドマップ携帯版を作成いたします。今回のガイドマップには、ダイヤ・ルート表だけではなく、ルート表には史跡や公園の案内を掲載し、またレターバスを使い史跡、うまかもん店、公園をめぐる「おでかけモデルコース」も掲載したいと考えています。

最後 16 ページをご覧ください。スケジュールです。

各月のスケジュールはご覧のとおりですが、6 月の中段米印に運行業者選定コンペ内部協議とあります。これは、事務局としてはコミュニティバスの運行について、運行経費の削減や更なる利用促進の取り組み内容について、重要課題として捉えています。そこで、レターバスの運行について、コンペ実施の有無について、今後、あらゆる角度から検討を行い、7 月中に検討結果をまとめ、その結果を 9 月の協議会でご報告したいと考えています。仮にコンペを実施することとなった場合、10 月にコンペを実施し平成 26 年度から複数年の契約で運行事業者を選定したいと考えています。

事務局からの説明は以上です。

藤井会長：委員の皆様この件についてご意見等ございませんか。

大津警察署田代氏：7 番の件です。利用促進策の事業について、事務局で精一杯努力されていて頭のさがる思いですが、先日、公共交通機関を利用して通勤した。A 点から B 点に移動するのであれば自家用車での移動が便利であるが、公共交通での移動の際に車内でカラオケ等のプラスアルファの取り組みを実施したら利用客が増えるのではないかと思う。

藤井会長：ありがとうございます。他にはございませんか。

ご意見がなければ、提案いたしました平成 25 年度事業計画（案）についてよろしければ拍手をもって承認とさせていただきますが如何でしょうか。

全委員：拍手

藤井会長：ありがとうございます。それでは平成 25 年度の事業計画に基づき事業を実施していきます、各委員のお力添えをよろしく願いいたします。

また、今回委員としてはじめて参加されました古武城委員から一言ご感想等いただければと思います。

古武城委員：今回始めて協議会に参加させていただきまして、日常的に自家用車を運転される方はあまり関係ないとは思いますが、高齢になり

車を運転しなくなった方等、非常に助かっている方も多いと思います。運行経費等の問題もありますが、利用促進策を行いながら今後もコミュニティバスの運行を続けていただければと思います。

藤井会長：ありがとうございました。区長会からコミュニティバスに関する意見等ございましたら、本協議会の中で色々ご意見等いただきたいと思っておりますので、これからもよろしく願いいたします。

その他の件について、事務局から説明をお願いします。

坂田主査：次回の協議会の開催を9月末、第1回作業部会を6月末に予定しております。事務局からは以上です。

藤井会長：次回の協議会と作業部会の開催のお知らせでした。

これをもちまして議長の職を降ります。ありがとうございました。

内田課長：事務局で用意いたしました、報告・議題等については以上でございますが、委員の皆様からのご意見ご要望等ありましたらお伺いいたします。(特に意見なし)

なければ、これをもちまして第25回志市地域公共交通協議会を閉会いたします。